

一般演題

10月16日（金）

口演

●第4会場 10:20～11:00

01群 「救急外来看護実践1」 座長: 三宅 千鶴子 (大阪府三島救命救急センター 看護管理室)

0-1 救急車受け入れ困難事例の現状と課題

湯川 恵美子 (長崎みなとメディカルセンター市民病院)

0-2 重症敗血症患者の救急外来滞在時間と患者予後の関連性の検討

濱田 賢吾 (独立行政法人 地域医療機能推進機構 九州病院)

0-3 ERの待ち時間に対する患者の心理と有効なケアの検証

田口 育美 (社会福祉法人聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院)

0-4 時間外電話対応におけるストレス調査

西野 宏哉 (社会医療法人 敬愛会 中頭病院)

●第5会場 10:20～11:00

02群 「トリアージ1」 座長: 染谷 泰子 (JAとりで総合医療センター 救急外来)

0-5 当院での院内トリアージ導入後の現状と課題

～院内トリアージ向上に向けた検証と取り組みを通して～

吉田 益美 (国保直営総合病院君津中央病院 3階西病棟)

0-6 院内トリアージの現状と課題

中村 朋美 (社会医療法人 共愛会 戸畑共立病院)

0-7 救急外来における再トリアージの現状と今後の課題

倉島 正成 (豊橋市民病院 救急外来センター)

0-8 当院における院内トリアージ教育の課題

関谷 裕美 (日本大学 医学部 附属板橋病院)

●第4会場 11:10～11:50

03群 「救急外来看護実践2」 座長: 石原 知代 (御幸病院看護部)

0-9 当番制で救急外来に勤務する看護師の不安軽減をめざして ～ACSセットとフローチャートの導入～

杉松 幸太郎 (独立行政法人 地域医療機能推進機構 人吉医療センター)

0-10 PCPS プロトコールを発動した救命事案から改善点を振り返る
鈴木 晴敬（総合病院 中津川市民病院 病院前救急診療科）

0-11 初期・二次救急外来における帰宅する患者に対する看護実践
～救急看護認定看護師の重要度の認識と実践～
山口 真有美（天理医療大学 医療学部 看護学科）

0-12 初期・二次救急外来における帰宅する患者に対する看護の実態
～救急看護認定看護師の工夫と困難～
山口 真有美（天理医療大学 医療学部 看護学科）

●第5会場 11:10～11:50

04 群 「トリアージ2」 座長: 山口 弘子（名古屋大学医学部附属病院）

0-13 意識調査からみえてくる院内トリアージナーズの現状
園田 拓也（一般財団法人平成紫川会小倉記念病院 救急室）

0-14 トリアージ教育に3分間紙上患者トレーニングを取り入れた効果
柿沼 幸恵（東京都立墨東病院 救急外来）

0-15 看護師による院内トリアージにおける臨床推論の思考過程
伊藤 敬介（高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター）

0-16 トリアージナーズ不在時間の受付事務職員への教育の検討
足達 麻衣（聖路加国際病院 救急外来）

●第4会場 14:10～15:00

05 群 「チーム医療」 座長: 千葉 武揚（青森県立中央病院救命救急センター）

0-17 ACS 疾患に対する連携体制の構築に向けて ～DrCar 出動事案一症例を通して～
仲宗根 千春（医療法人 沖縄徳洲会 中部徳洲会病院 救急外来）

0-18 腹腔内出血が疑われた患者の外傷初期診療チームにおける管理、調整的役割を担った看護実践の考察
山崎 貴史（市立福知山市民病院）

0-19 救命 NST の取り組み ～急性期における排便コントロールについての検討～
関 隆裕（東京女子医大東医療センター 救命 ICU）

0-20 救急看護師が行う院内連携・地域連携への取り組み
石上 知佳（社会医療法人 清恵会 清恵会病院）

0-21 急性期病院の地域人材育成への支援の実例 ―無医島における緊急時シミュレーションの実施―
福元 幸志（鹿児島大学医学部・歯学部附属病院）

●第5会場 14:10~15:10

06 群 「看護教育1」 座長: 古賀 明美 (佐賀大学医学部看護学科)

0-22 チーム力向上につながる事例カンファレンス法の検討 ~アクションリサーチを活用して~
家田 優子 (住友病院 救急センター)

0-23 CPR クリティカルパスの記載に関する講習会実施とその成果
田中 聡壮 (筑波大学附属病院 看護部)

0-24 救急看護認定看護師の活動に関する救急看護師のニーズ
中野 英代 (佐賀大学 医学部 附属病院)

0-25 救命救急センターにおける新人看護師の自己成長感向上への取り組み - 目標シートを使用して -
金 誠治 (旭川医科大学病院救命救急センター)

0-26 ICU・救急病棟新人看護師が直面するリアリティショック ~卒後1年目から2年目の変化~
佐藤 彩香 (独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター)

0-27 救命救急センターにおける新人看護師オリエンテーションの一法
赤池 麻奈美 (東京女子医科大学東医療センター 救命救急センター)

●第4会場 15:10~16:10

07 群 「家族看護1」 座長: 藤野 智子 (聖マリアンナ医科大学病院)

0-28 救急搬送された患者家族のアセスメント用紙を用いた心理的な危機的状況の評価
佐藤 遥 (日本医科大学 多摩永山病院)

0-29 救急外来・初療室における家族ケア ~処置時の声かけの実際~
高野 美穂 (独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター)

0-30 緊急経皮的冠動脈形成術を要したWalk in 患者の家族看護の実際
竹内 恵 (秋田赤十字病院 救命救急センター 救急外来)

0-31 来院時心肺停止患者と家族の関係性を支えたケア
榎本 貴恵 (東京都済生会中央病院 救命救急センター)

0-32 CPA患者家族の意思決定支援 ~救急看護認定看護師と家族支援専門看護師との協働から~
生田 正美 (地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立足柄上病院)

0-33 CPAで搬送された6歳児の家族看護
瀬川 千鶴 (岩手県立中央病院)

●第5会場 15:20~16:10

08 群 「BLS1」 座長: 淵本 雅昭 (東邦大学医療センター大森病院 救命救急センター)

0-34 新規採用看護師を対象とした「BLS (1次救命処置)」集合研修の評価 -研修後のBLS実技試験より-
大秦 恵子 (京都府立医科大学附属病院)

0-35 BLS訓練指導者の育成 -ARCSモデル分類での振り返り-
松井 智子 (一宮市立市民病院)

0-36 伝達講習を課題としたBLSスキルアップ研修の効果
桐本 千恵美 (学校法人北里研究所 北里大学病院 救命救急・災害医療センター)

0-37 院内BLS+AED研修における指導者養成の取り組み
坂井 笑美 (旭川医科大学病院 救命救急センター)

0-38 卒後2年目看護師のファーストエイドの現状と課題
野寄 真紀 (独立行政法人 地域医療機能推進機構 九州病院)

●第4会場 16:20~17:20

09 群 「プレホスピタルケア」 座長: 坂田 久美子 (愛知医科大学病院高度救命救急センター)

0-39 ドクターカー運用の現状と、看護師が取り組むべき課題
吉村 知子 (東京医科歯科大学 医学部附属病院 救命救急センター)

0-40 ドクターヘリで実施した処置の実施タイミングの調査 -外傷と内因性疾患の比較から-
福本 真也 (公立豊岡病院 但馬救命救急センター)

0-41 「プレホスピタルの関わりからの患者心理の調査」 ~高エネルギー外傷における事例検討~
室井 賢一 (那須赤十字病院 看護部 救命救急センター)

0-42 ドクターカーナースにおける心肺停止患者の現場活動から見た家族ケアへの繋がり
近藤 優 (ベルランド総合病院 集中治療部 (救急部門))

0-43 ドクターヘリで搬送される患者の家族同乗に関する現状とフライトナースの認識
向江 剛 (山口大学医学部附属病院)

0-44 ドクターヘリの現場出動における家族ニーズの重要度と充足度に関するフライトナースの認識
向江 剛 (山口大学医学部附属病院)

●第5会場 16:20~17:20

010 群 「院内急変」 座長: 満留 修一郎 (鹿児島市立病院 7北病棟)

0-45 院内救急対応の現状と救急看護師の事例検討会からみる今後の課題
吉次 育子 (神戸大学医学部附属病院 救急・放射線部)

0-46 Rapid Response System(RRS)に対する意識向上に向けた取り組み
河上 ひとみ (独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター)

- 0-47 ICUへ予定外入室となった患者のRRS要請の実態 ～病棟看護師の気づきとRRS起動からの評価～
川口 なぎさ（大阪市立総合医療センター 救命救急センター）
- 0-48 当院Rapid Response Systemの現状報告 ～救急病棟における予期せぬ院内CPA発生率の推移～
山口 優（神戸市立医療センター中央市民病院 救急病棟・救急外来）
- 0-49 トリアージナースをRRTとして活用したRapid Response Systemの有効性の検討
伊藤 敬介（高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター 救命救急センター）
- 0-50 Rapid Response System試験的導入後の現状と今後の課題
田尻 雄三（国家公務員共済組合連合会 浜の町病院）

ポスター

●第6会場 14:10～14:50

- P1群 「救急外来看護1」 座長：石井 恵利佳（獨協医科大学越谷病院 糖尿病内分泌血液内科）
- P-1 救急外来での防災訓練についての考察 —災害机上訓練の経験から—
太田 有亮（春日井市民病院）
- P-2 当院救急外来を受診した急性心不全患者のクリニカルシナリオの実態
山田 勇斗（長崎大学病院 救命救急センター）
- P-3 緊急PCIカテ出しに使用した胸部症状のある患者チェックリストの評価
早川 由紀子（岡山済生会総合病院 救急外来）
- P-4 A病院における異物誤飲の現状
大槻 洋子（公益財団法人 仙台市医療センター 仙台オープン病院）

●第6会場 14:10～15:00

- P2群 「トリアージ1」 座長：宮村 多嘉子（熊本赤十字病院 救命救急センター）
- P-5 へき地中核病院における院内トリアージの有効性 ～院内トリアージ開始 2ヶ月の検証～
谷口 公太郎（京丹後市立弥栄病院）
- P-6 救急医療室におけるトリアージ記入率の上昇を目指して
～トリアージ表改訂と勉強会を実施して～
芦田 渉（公立甲賀病院 救急医療室）
- P-7 2次救急から3次救急へ転帰となった症例の事後検証
西川 礼子（大阪市立総合医療センター）

P-8 小児外来におけるトリアージ導入に向けた取り組み
川上 大輔（北里大学病院 周産母子成育医療センター PICU）

P-9 救急外来における電話相談の実態調査
西村 文夫（独立行政法人 国立病院機構 京都医療センター）

●第6会場 15:00～16:00

P3 群 「重症看護」 座長：高橋 ひとみ（杏林大学医学部付属病院 脳卒中センター）

P-10 ICU-AW と早期離床に対する救命救急センター看護師の認識調査
上原 みずき（日本医科大学多摩永山病院）

P-11 A病院 ICUにおける低活動型せん妄の認識
佐伯 和菜（富山市立富山市民病院 看護部 集中治療科）

P-12 救命センター看護師による栄養状態に関する意識を反映した栄養アセスメントツール作成に向けた取り組み
阿部 愛紗美（都立広尾病院 看護部 看護科 220 病棟救命センター）

P-13 高度侵襲期における、栄養療法の現状 ～栄養充足率の早期達成と overfeeding の可能性～
野村 主弥（公益財団法人 宮城厚生協会 坂総合病院 集中治療室）

P-14 血栓予防チーム立ち上げによる看護実践に与えた影響についての検討
安丸 諒（東京女子医科大学東医療センター 看護部）

P-15 集中治療室（ICU）における家族以外の面会の必要性
松永 良亮（国家公務員共済組合連合会 佐世保共済病院 ICU）

●第6会場 15:10～16:00

P4 群 「チーム医療・医療安全」 座長：芝田 里花（日本赤十字社和歌山医療センター 看護部）

P-16 ICU 予定外入室患者から検証した Rapid Response Team の活動
木村 千穂（大阪市立総合医療センター 救命救急センター）

P-17 多発外傷患者の受け入れ一事例からの考察 –RST 活動の課題について–
上田 公恵（金沢市立病院）

P-18 転院搬送時の救命士の看護師への期待
野口 幸江（まび記念病院）

P-19 救急看護が果たす社会的役割とニーズ –乳児保育専門研修から見てきた看護師に期待される役割–
山田 恵子（日本赤十字豊田看護大学）

P-20 ICU の採血方法を変更することによるスタッフの意識変化
岡上 慎（社会医療法人大雄会 総合大雄会病院 救命救急センターICU）

10月17日（土）

口 演

●第4会場 9:00～10:00

011 群 「看護管理」 座長: 臼井 千津 (愛知医科大学看護学部)

0-51 他部署から配置転換となった看護師が救急看護師へと飛躍していくきっかけとなる経験
横山 優子 (地方独立行政法人 神戸市民病院機構 神戸市立医療センター中央市民病院)

0-52 二次救急病棟で勤務する看護師のキャプテンシーとその構成要素について
荒木 敬雄 (神戸市立医療センター西市民病院)

0-53 救急外来に勤務する看護師の人間関係形成促進への取り組み
桑田 睦子 (九州大学病院)

0-54 救急看護に従事する看護師の救急看護実践能力に関する実態調査研究 ー環境要因別比較ー
清村 紀子 (日本救急看護学会 調査研究委員会 大分大学)

0-55 医療機器関連圧迫創傷のマニュアル使用による予防ケアに対する意識の変化
古舘 美穂 (岩手医科大学附属病院 看護部)

0-56 外来患者の満足度調査 ～外来看護の質の向上を目指して～
中村 翼 (社会医療法人財団 池友会 新行橋病院)

●第5会場 9:00～10:00

012 群 「重症看護1」 座長: 阿部 雅美 (日本赤十字社和歌山医療センター 看護部)

0-57 簡易版 NIHSS 評価の導入に対する看護師の意識調査と看護師による簡易版 NIHSS の妥当性
今泉 香織 (佐賀大学 医学部附属病院 救命救急センター)

0-58 外傷患者が頸椎固定装具使用時に発生する圧迫創を予防した取り組み
～接触部位の圧分散を試みて～
辻本 将和 (日本医科大学千葉北総病院 集中治療室)

0-59 ECUにおける鎮痛鎮静プロトコルの現状評価
岸田 里美 (大阪市立大学医学部附属病院 救命救急センター)

0-60 呼吸器装着患者に対する早期リハビリテーション導入の効果
世戸口 真希 (東京都立墨東病院)

- 0-61 骨盤骨折による安静臥床が必要とされる高度肥満患者への呼吸ケア
江津 篤（信州大学 医学部附属病院 高度救命救急センター）
- 0-62 特定看護師（仮称）と RST の協働による人工呼吸器離脱に向けたケアの成果
山田 君代（特定医療法人 渡辺医学会 桜橋渡辺病院）

●第4会場 10:10~11:00

- 013 群 「その他」 座長: 小倉 久美子（愛知医科大学看護学部）
- 0-63 単独型3次救命救急センターにおける地域連携室の課題と対策の明確化
片瀬 ひろみ（大阪府三島救命救急センター）
- 0-64 三次救急医療施設開院による地域救急医療への影響
有澤 文孝（地方独立行政法人 東金九十九里地域医療センター 東千葉メディカルセンター）
- 0-65 二次救急病棟の高齢化に伴う救急患者の変化についての調査と今後取り組むべき課題
瀧澤 紘輝（西神戸医療センター 救急病棟）
- 0-66 救急搬送受諾件数が増加に結び付いた北米型 ER システム導入の考察
小幡 敦子（社会福祉法人康和会 久我山病院 看護部救急外来）
- 0-67 北米型 ER システム導入により減少した救急搬送謝絶理由の検証
大場 規予美（社会福祉法人康和会 久我山病院 看護部救急外来）

●第5会場 10:10~11:00

- 014 群 「感染管理」 座長: 三橋 睦子（久留米大学医学部看護学科）
- 0-68 ER-ICUにおける環境培養結果に基づいた看護ケアの改善
酒井 達也（東京医科歯科大学医学部附属病院）
- 0-69 蛍光塗料を用いた可視的吸引手技教育の有効性の検証
榎林 千枝子（岩手医科大学附属病院 高度救命救急センター）
- 0-70 口腔ケアで生じる環境汚染の実態とその防護対策に向けた検討 第三報
横山 瑞恵（日本医科大学付属病院 看護部）
- 0-71 救命救急センターにおける MRSA アウトブレイク終息に向けた接触感染予防策の遵守率向上への取り組み
横山 絵里奈（大阪市立大学医学部附属病院 救命救急センター）
- 0-72 小児救急外来における腰椎穿刺の合併症に関する調査
八田 圭司（市立ひらかた病院）

●第4会場 11:10~11:50

015 群 「BLS2」 座長: 京極 多歌子 (大阪府済生会千里病院看護部長室)

- 0-73 新入学生 3000 人への心肺蘇生法講習会の実施と大学教育における課題
西山 知佳 (京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 クリティカルケア看護学分野)
- 0-74 地域周辺施設への BLS 講習会で得た学びと今後の連携について
岩田 勇樹 (福岡和白病院 救急外来)
- 0-75 乳幼児をもつ母親に対する応急手当講習会の実施と有効性について
山本 尚樹 (市立秋田総合病院)
- 0-76 胸骨圧迫における背板使用の有効性に関する文献検討
—背板の使用は胸骨圧迫の質向上に寄与するの—
前田 晃史 (市立ひらかた病院)

●第5会場 11:10~11:50

016 群 「看護師のストレスと心理」 座長: 村井 嘉子 (石川県立看護大学)

- 0-77 救命救急センターに勤務する看護師における首尾一貫感覚、職業上のストレスと精神健康度の関連
大川 滋美 (名古屋市立大学 看護学部 看護学科)
- 0-78 A 病院急性期病棟における看護師のメンタリングと関連要因
藤瀬 佳菜子 (佐賀大学 医学部附属病院 看護部)
- 0-79 脳死下臓器提供プロセスに関わる看護師の心理的ストレスと影響要因
丸林 美代子 (国家公務員共済組合連合会 浜の町病院)
- 0-80 新設された救急外来で働く看護師のストレスに関連する要因
竹之内 卓 (鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 救急病棟)

●第4会場 13:00~14:00

017 群 「トリアージ3」 座長: 角 由美子 (名古屋第二赤十字病院)

- 0-81 二次救急外来の成人患者の電話トリアージで看護師が感じる困難と対処及び影響要因
高田 ますみ (独立行政法人労働者健康福祉機構 大阪労災病院)
- 0-82 A 病院における緊急度判定基準導入後の電話トリアージの評価
下堂 亜矢子 (大阪医科大学附属病院)
- 0-83 院内トリアージシステムと連動した新電子カルテ“救急医療システム”の効果について
河瀬 亨哉 (市立函館病院 看護局)
- 0-84 院内トリアージ能力向上への取り組み —頭痛・胸痛・腹痛重症化しやすい3症状に焦点をあて—
吉田 翔 (社会医療法人 清恵会 清恵会病院)

0-85 A 県トリアージナースの知識・技術と自信や不安に対する経験年数の違い
黒田 早希子（山口大学医学部附属病院）

0-86 A 県におけるトリアージナースの役割と特性および知識・技術
川島 裕子（日本医科大学付属病院）

●第5会場 13:00～13:50

018 群 「救急外来：家族看護」 座長：久間 朝子（福岡大学病院救命救急センター）

0-87 患者・家族の思いを確認し救急外来看護を考える
後藤 朋子（岐阜市民病院）

0-88 3 次救急患者が搬送された際に看護師が行う羞恥心への配慮に関する意識調査
林 幸司（山口県立 総合医療 センター）

0-89 3 次救急医療機関の初療室に搬送された患者の家族ケアにおける熟練看護師の取り組み
樋口 恵美（千葉県救急医療センター）

0-90 CPA 患者の家族支援の現状調査と看護師間の合意形成への取り組み
佐藤 明美（千葉県立佐原病院）

0-91 救急外来で予期せぬ死を経験した家族の悲嘆へのケア —看護師の認識に焦点を当てて—
岡林 志穂（高知県・高知市病院企業団立高知医療センター）

●第4会場 14:10～15:10

019 群 「重症看護 2」 座長：富岡 小百合（大阪府立中河内救命救急センター）

0-92 包括的に集中治療を行うためのチェックリストを導入しての実態調査
松尾 照美（佐賀大学医学部附属病院 高度救命救急センター集中治療室）

0-93 救急看護師のせん妄発症予防におけるリスクの焦点観察と予防ケア実践の関連
的場 千景（神戸市立医療センター中央市民病院）

0-94 救命救急センターICUに入院した外傷患者の抜管後3日間におけるせん妄発症リスク要因
下田 美由紀（りんくう総合医療センター 大阪府泉州救命救急センター）

0-95 熱傷による開口困難、恐怖心がある患児の食べる意欲を向上させるための看護介入
佛性 千賀子（日本赤十字社 大津赤十字病院 高度救命救急センター 集中治療室）

0-96 救命救急センターにおける褥瘡発生因子の検証
兼松 春香（大阪府立急性期・総合医療センター）

0-97 ICU・救命救急センターにおける積極的治療断念時の看護；積極的治療時の看護との比較から
堤 夏紀（県立広島病院 看護部）

●第5会場 14:00~15:00

020 群 「家族看護2」 座長: 山本 小奈実 (山口大学大学院医学系研究科)

- 0-98 A病院救命救急センターに入院した患者家族のニーズの実態調査
橋本 美紗 (独立行政法人国立病院機構 関門医療センター 看護部 救急センター)
- 0-99 救急病棟での代理意思決定支援における看護師の役割
~病状理解が乏しいキーパーソン事例を経験して~
富永 彩夏 (信州大学 医学部附属病院 高度救命救急センター)
- 0-100 救命救急センターのオーバーナイト制度における患者の家族がうける精神的・身体的影響
市村 千明 (自治医科大学附属病院 救急救命センター)
- 0-101 ICUに入室した患者の退院半年後の精神状態
藤田 知幸 (岡山赤十字病院 ICU)
- 0-102 急性期医療施設の認知症高齢者に対し、熟練看護師が用いる認知症ケア技術の概念化
山本 克英 (医療法人社団 顕鐘会 神戸百年記念病院 看護部)
- 0-103 ICUおよび救命救急センターにおける急性期型終末期看護の構造化
上田 亜沙美 (日本医科大学付属病院)

●第4会場 15:20~16:20

021 群 「看護教育2」 座長: 八尾 みどり (大阪府三島救命救急センター)

- 0-104 アウトプット型研修による知識定着の効果 ~胸痛を主訴とする救急初期対応の研修を通して~
木原 智枝子 (枚方公済病院)
- 0-105 教育研修の評価と臨床判断能力習得のための今後の課題
垣内 幸代 (金沢市立病院 看護部)
- 0-106 初療対応を行う看護師教育の取り組み
北田 久未 (大阪府立急性期・総合医療センター)
- 0-107 患者急変の認識と行動に関する看護師の調査から見えた看護師教育の方向性
樋口 優 (北九州総合病院 救命救急センター)
- 0-108 教育委員のシミュレーション指導に対する学習意欲の変化
~急変対応シミュレーション研修について~
楠 久絵 (公立学校共済組合 九州中央病院)
- 0-109 患者急変対応コースの授業設計
増山 純二 (長崎みなとメディカルセンター市民病院)

●第5会場 15:10~16:10

022 群 「医療安全」 座長: 清末 定美 (日本赤十字九州国際看護大学)

0-110 小児救急外来で待機する患児の転落防止対策 - 「直観」・「認識」・「行動」と経験年数での違い-
中島 紀彦 (鹿児島市立病院)

0-111 硫化水素中毒初療における医療従事者の安全対策の検証
石村 徳彦 (九州大学病院 看護部 救命救急センター CCU・ハイケア病棟)

0-112 呼吸理学療法の安全管理について
渋谷 文子 (日本大学医学部附属板橋病院)

0-113 三次救急病院外傷治療科病棟スタッフナースの実態に即した「ベッドサイド暴力予防マニュアル」の作成
根本 菜穂子 (千葉県救急医療センター 看護部 TRG・OP)

0-114 救命救急センターにおけるインシデント・アクシデントに関わる看護師の個人特性
浅野 麻観 (大垣市民病院 救命救急センター 救急外来)

0-115 「救急カート物品薬品表」作成による効果と今後の課題
澤邊 梨香 (筑波大学附属病院 看護部)

ポスター

●第6会場 9:00~9:40

P5 群 「救急外来看護2」 座長: 奥田 晃子 (名古屋第二赤十字病院)

P-21 精神疾患を有する娘に傷害を受けた親の心理的変化 CNS-FACE で振り返る 第1報 父親
城尾 恵子 (赤穂市民病院)

P-22 精神疾患を有する娘に傷害を受けた親の心理的変化 CNS-FACE で振り返る 第2報 母親
山本 牧子 (赤穂市民病院)

P-23 救命救急センター初療室における看護師の倫理的ジレンマ
建部 沙央里 (市立札幌病院)

P-24 脳卒中で救急搬送された患者の初療現場における看護の現状分析
今西 佳代 (岐阜市民病院 救急外来)

●第6会場 9:00~9:50

P6 群 「看取り・家族看護」 座長: 江口 秀子 (宝塚大学 看護学部)

P-25 エンゼルケアへの取り組み後の変化を明らかにするための実態調査
後藤 久乃 (埼玉石心会病院)

P-26 三次救急医療施設における損傷が激しい患者に対する看護師のエンゼルケアの意識と工夫点
浅海 くるみ (大阪府済生会千里病院)

P-27 救急外来で経験した来院時心肺停止患者家族の看護
—寄り添い話を傾聴することでの家族の心理的变化—
國分 秀人 (一般財団法人 太田総合病院附属太田西ノ内病院)

P-28 救急外来に搬入された患者家族のニーズと状態不安の実態調査
上矢 航士 (札幌東徳洲会病院 救急外来)

P-29 救急外来における家族看護実践の程度と関連要因 (第1報)
鷺尾 和 (トヨタ記念病院)

●第6会場 9:50~10:30

P7 群 「救急外来看護3」 座長: 岩本 満美 (北海道大学病院 循環器内科病棟看護師長)

P-30 ストーマサイトマーキングに対する救急外来での取り組み
米嶋 美晴 (総合病院 土浦協同病院 看護部)

P-31 救急患者に活用できる創傷アセスメントシート作成への取り組み
浅野 永美花 (愛知医科大学病院 高度救命救急センター 救急外来)

P-32 横浜市重傷外傷センター立ち上げに伴うシステム構築の過程と現状報告
洪 寿美 (済生会横浜市東部病院)

P-33 救急外来における二次救命処置標準化に向けた取り組みと今後の課題
丸田 洋美 (社会医療法人 ベガサス 馬場記念病院)

●第6会場 10:00~10:50

P8 群 「看護教育」 座長: 笠原 真弓 (浜松医療センター 救命救急センター)

P-34 救急外来における転入者へのグループ指導を試みての効果
鈴木 陽子 (東京都立墨東病院 救急外来)

P-35 アセスメント能力向上に向けたケースカンファレンスの実際と今後の課題
宮田 佳之 (長崎大学病院 救命救急センター)

P-36 急変時の看護記録監査と今後の課題 第2報 ~急変時看護記録活用シート・時計の設置と教育の評価~
柿原 裕美 (旭川赤十字病院)

P-37 ドクターカー事案を通しての看護教育の見直し ～ER 基準の見直し、クリニカルラダーの必要性～
桐野 郁子（社会法人 緑泉会 米盛病院）

P-38 当施設におけるドクターカー症例をふまえた同乗看護師のシミュレーション教育の現状と課題
及川 真奈（日本医科大学多摩永山病院）

●第6会場 10:40～11:40

P9 群 「トリアージ2」 座長: 多久和 善子（宝塚大学看護学部）

P-39 A 病院救急外来のアンダートリアージの現状
島田 佐苗（独立行政法人 労働者健康福祉機構 香川労災病院）

P-40 A 病院救命救急センターにおけるアンダートリアージに陥る要因の検討
高根 瑠美子（島根県立中央病院 看護局 救命救急外来看護科）

P-41 腹痛を主訴に来院した患者のアンダートリアージ傾向と今後の課題
江上 和幸（済生会熊本病院 救命救急外来）

P-42 「発熱」を主訴とする小児患者を JTAS レベルから看護師判断でレベルダウンとした要因の分析
多賀 真佐美（公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院）

P-43 Walk in で来院した STEMI 患者の実態調査と課題の抽出 ～Door to Balloon Time 短縮に向けて～
鈴木 裕子（医療法人 溪仁会 手稲溪仁会病院）

P-44 脳梗塞と診断された救急患者のトリアージの現状と課題
寺崎 昌美（地方独立行政法人 京都市立病院 機構）

●第6会場 11:00～11:50

P10 群 「その他」 座長: 石田 美由紀（市立札幌病院）

P-45 A 病院循環器病棟における AED 使用の現状を分析する
向 結梨乃（富山市立富山市民病院）

P-46 災害支援医療チームにおける隊員健康管理の役割
ーバヌアツ共和国サイクロン被害に対する活動を通してー
川谷 陽子（愛知医科大学病院）

P-47 救命救急センターに勤務する看護師の妊産婦ケアに対する認識
早乙女 友美（独立行政法人国立病院機構 東京医療センター）

P-48 救急看護師がOncologic Emergency 患者との関わりで抱く困難と要因 ー看護師の知識・経験に着目してー
春名 純平（札幌医科大学附属病院 高度救命救急センター）

P-49 A 病院における院内急変時緊急コール「コードブルー」の事例検討
井下田 恵（市立函館病院 ICLS 委員会）

●第6会場 13:20~14:20

P11 群 「急変対応」 座長: 川原 千香子 (愛知医科大学医学部シミュレーションセンター)

- P-50 急変時対応シミュレーション研修の現状と課題
阿萬 道子 (鹿児島大学医学部・歯学部附属病院)
- P-51 新人看護師のシミュレーション研修における習熟度の均質化に対するファシリテーターの影響
河合 豊 (春日井市民病院 看護部)
- P-52 心停止前事例を用いた参加型訓練(メディカルラリー)の取り組み
笛木 小瑠理 (横浜市立みなと赤十字病院 院内救急サポートチーム)
- P-53 A市における140人の保育園職員への小児心肺蘇生法研修の取り組みへの報告
大曲 史悦 (伊万里有田医療福祉組合 伊万里有田共立病院)
- P-54 S市小学6年生に対する心肺蘇生講習会後の学習効果に関するアンケート調査
内藤 夕美子 (袖ヶ浦さつき台病院)
- P-55 院内緊急コール事例における看護師の急変予知の実態調査
田中 洋子 (岩手県立中央病院)

●第6会場 13:20~14:10

P12 群 「災害看護」 座長: 中橋 厚子 (健和会大手町病院 6階病棟)

- P-56 赤エリア(災害時トリアージ赤タグ被災者収容エリア)におけるアクションカード改善の取り組み
伊藤 加依子 (大阪赤十字病院 救命救急センター)
- P-57 東京DMAT隊員看護師の出動に関する考察
~自己効力感とストレス対応能力の関連性について~ (第1報)
三田村 英美 (東京都立広尾病院)
- P-58 災害看護講義の工夫で被災地の看護学生の心的ストレス症状の増悪は防げるか?
小原 秀樹 (聖マリアンナ医科大学病院)
- P-59 ネパール災害活動報告
中村 幸司 (鹿児島徳洲会病院)
- P-60 災害時における多数傷病者受け入れ実動訓練の取り組みと課題
土屋 一子 (沖縄赤十字病院 救急センター)